

プリント回路

株対松堂精工 代表取締役社長

田中寛孝氏に聞く

基板実装の老舗である株対松堂精工(愛知県豊川市川花町一三四、☎〇五三三―八四一四〇一一)は、国内、海外工場の役割は、事務機器関連は好調である。

国内は本社に隣接して本社工場、海外では中国の深圳工場(広東省深圳市宝安区)、蘇州工場(江蘇省蘇州市)、ベトナム工場(ハイズン市ダイアン工業団地)が稼働。多品種少量の



は、同社の品質と管理力を顧客が高く評価した結果と考えている。

田中 〇三

国内本社工場と蘇州・深圳の中国二工場を稼働、二〇〇八年にはベトナムに自社工場を新設した。中国国内への販売を強化し、将来的には日系企業からの需要に対応する。代表取締役社長の田中寛孝氏に聞いた。

中国国内需要活発で

蘇州・深圳工場が好調

田中 現在の製品用途はコンピューターなどの事務機器向けを主力に、医療機器、自動車部品、産業用ロボット、コンピューター周辺機器など多分野にわたる。二五%ほどを占めていた自動車関連の受注量は落ちているも

生産は国内、量産製品は海外工場に対応している。なお、深圳工場は「対松堂香港有限公司」、蘇州工場は「対松堂電子(蘇州)有限公司」が運営し、両社は対松堂グループの一〇〇%出資子会社で直営である。

本社工場について。

田中 設計、検査治具開発、試作などに対応し、多品種少量短期生産システムを確立する。生産品目の特徴に応じて、ロボット、コンピューターを独自の生産技術ノウハウでシステム化し、FPA(フレキシブル・ファクトリー・オート

試作受注回復、10年度量産へ

延べ床面積六四〇〇㎡の建物である。〇八年四月、八月、一〇月に表面実装ラインを増設し、合計二ライン体制となった。〇九年四月現在で中国人スタッフは四四〇人、一般作業員は六四〇人、管理全般や技術顧問の日本人スタッフ八人を配置している。同工場を運営する対松堂香港有限公司の売上高は、〇五年に四七億円だったものが、〇九年六月期には約七〇億円となり順調に推移している。これ

スタッフ四〇人、一般作業員五〇〇人体制である。主要生産品目は高密度多層SMD基板を主体とした電子回路基板の製造で、完全鉛フリー対応工場である。現在の最大生産能力は月間一億三五〇〇万点、売上高は〇五年に三七億円であったものが、〇九年六月期には八億一億円にアップした。同工場を運営する対松堂電子(蘇州)有限公司は、キャノン・蘇州・キヤノンファイナンシャル・グループより優秀サブ

人材教育への取り組みについて。田中 新入社員教育、階層別教育、職能別教育などを基本として全社員のレベルアップを図り、各種改善活動を活発に進めている。これにより安全、品質、コスト面で大きな改善成果が得られた。また、海外エンジニアへの教育にも注力し、マネジメント能力を高めて

メイション)構築に取り組み。現在は二ラインが稼働し〇九年六月期の売上高は三〇億円に達した。

一年に操業した蘇州工場は、一万五〇〇〇㎡の敷地に延べ床面積六六〇〇㎡規模の建物。〇八年四月、九月にSMTラインを追加し、合計二ラインとなった。日本人スタッフ八人、中国人

り、昨夏を上回るようになった。一〇年には海外工場が成長しているのを感じている。今後は中国国内シェアや中国に進出する日系企業向け製品の提供を目指す。

一方、中国のマーケット (聞き手・上田しおり記者)